

北海道総合地質学研究センター 第 10 回研究セミナー 記録

日時：2019 年 1 月 19 日 (土曜) 15:30-17:00

開催場所：札幌市手稲区民センター 第 1 会議室 (札幌市手稲区前田 1 条 11 丁目)

講演者：君波和雄 (北海道総合地質学研究センター)

講演タイトル：Flat-slab とスラブの垂直切断

講演要旨：

沈み込むスラブの諸パラメーター (例えば, スラブの傾斜角, 沈みこみ速度, 年代など) や形状・特性 (切断や浮揚性地塊の有無) は, 過去の沈み込みテクトニクスを考察するにあたって, しばしば重要な鍵となる.

世界の沈み込みスラブの約 10% は, 非常に低角な沈み込み (flat-slab) である. 低角沈み込みが起こる原因に関して, 計算モデルやアナログ実験を主とする研究が多数行われている. 低角沈み込みの形成要因が取り除かれると, 通常沈みこみへと移行する過程で沈み込むスラブのロールバック (rollback) もしくは高角化が起こる. スラブがロールバックする過程でしばしば差別的な高角化が生じ, スラブは切断される (垂直切断の形成). 低角沈み込み, スラブのロールバックおよびスラブの垂直切断は, 火成活動の消長・空間分布や火成岩類の地球化学的特徴, 上盤プレートの造構運動などに影響を及ぼす.

ここでは, flat-slab の形成要因, スラブのロールバックとマンツルの流動, 垂直切断の形成要因などに関する最近の研究動向を紹介する. また, 西南日本外帯の中新世火成活動の形成要因に関して, 一つのアイデアを提示する.

参加者：19 名. 内訳：会員 16 名 (前田仁一郎, 在田一則, 川村信人, 松田義章, 高波鐵夫, 柳下文夫, 岡 孝雄, 関根達夫, 嵯峨山 積, 宮下純夫, 君波和雄, 岡村 聡, 中川 充, 高田忠彦, 石崎俊一, 加藤孝幸), 会員外 3 名

研究セミナーの進行は HRCG 研究基盤整備担当 宮下純夫がつとめた. 発表の最中においても極めて活発な議論が行われ, 研究セミナーらしい研究セミナーであった. なお, セミナー終了後に有志 15 名によって新年会を兼ねた懇親会が開催された.